

# 「楽しい地図づくり」

福井県福井市木田小学校 澤田 佳久

## 1 はじめに

子どもたちは、第4学年になり、社会的現象が身近な地域から県へと広がりを見せる中で、地域版地図や地図帳の活用は、地名の位置を確認するだけでなく、地形や、産業、土地利用の特色などを調べたり、考えさせたりする上で有効な資料となる。また、調べたことを白地図などに楽しくわかりやすくまとめるためのヒントが、地図や地図帳には隠されている。

## 2 地域版地図と地図帳の活用を通して

地図を読みとるための基礎となる方位や縮尺、等高線や地図記号、索引などの理解は、『楽しく学ぶ小学生の地図帳（初訂版）』のp.6を参考にした。とくに縮尺の理解は難しいと思われるが、地図帳には、「かんたんものさし」が載せてある。それには地図上の長さで実際の距離が目盛りがあり、子どもたちにとって大変わかりやすいものであった。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳（初訂版）』 p.6

p.7～8の「地図帳の記号を読みとろう」には、地図記号が分類され、写真資料も載っている。さらに、「やってみよう」というコーナーがあり、県内の特色を調べる観点を与えてくれる。これら地図を読みとるための基礎・基本を十分習熟することによって、

福井県の位置や方角、地形の様子や産業の特色をとらえることができた。

子どもたちが調べたことを白地図にまとめるには、既習の経験が役に立った。第3学年では、自分たちが住んでいる福井市の地形の様子や土地の使われ方などを調べる際、地域版地図「わたしたちの福井市」を活用した。この地図には、住宅地や工業地、水田や畑、森林・草地などが色分けしてあり、土地の使われ方が視覚的にわかりやすく工夫されている。また、この地図には「地図の中からさがしてみよう」「地図と遊ぼう」というコーナーがある。前者は、地図の中に主な公共施設が番号で表されており、ゲーム形式で公共施設を探していくことができるものである。後



「わたしたちの福井市」福井市小学校社会科研究会編 帝国書院

者は、「福井市で一番高い山は……。」などのクイズにチャレンジしたり、福井市の形は何に見えるかを考えたりするものである。

これらの学習が生かされ、子どもたちが調べた地域の情報を地図にまとめる際には、土地の使われ方によって、色分けをしたり、クイズやゲームを取り入れたりして、楽しく地図づくりをすることができた。

## 3 おわりに

子どもたち一人ひとりが地図を十分活用できる能力を持つことによって、調べたり考えたりする幅が広がり、これら習得した知識が社会科のみならず、他の場面に転移、応用することができるものと考えられる。